



未来のキャンパスライフを疑似体験 武庫川大学のテレビドラマを制作・放送へ

2027年4月に共学化する武庫川女子大学が、新たな「武庫川大学」のキャンパスライフを疑似体験できるショートドラマ「向こう側の僕」を制作。4月8日（水）から毎日放送テレビで放送をスタートします。武庫川大学の魅力を幅広い層に知ってもらうとともに、これまで本学への興味関心が薄かった男子高校生や共学志向の女子高校生に志望校の選択肢に加えてもらうのが狙いです。大学がテレビドラマを制作するのは例がなく、新たなチャレンジとなります。

武庫川女子大学は女子大学としては学生数、学部数ともに全国最大規模ですが、共学となる武庫川大学が、これまで本学と無縁だった男子高校生や、共学志向の女子高校生の選択肢にのぼるには、他にはない魅力を理解してもらう必要があります。本学の持つ教育・研究のクオリティの高さ、優れた施設・設備、立地の良さ、きめ細かなサポートや抜群の就職率、友好的で明るい雰囲気などを知ってもらい、進学先の選択肢としてとらえてもらうにはどうすればいいか、検討を重ねてきました。

本学は2022年4月から2025年3月まで3年間、学びの魅力を伝えるドキュメンタリータッチのミニ番組（長尺インフォーマーシャル）を、テレビ放送していた実績があります（※朝日放送テレビ「武庫川女子大学のむこじょTV」）。テレビ離れが進んでいるとはいえ、テレビの影響力はまだまだ大きいと考えられます。ただ、ドキュメンタリーはあらかじめ本学に興味関心を持っている層には伝わるものの、不特定多数を惹きつけるには、等身大の学園ドラマがより有効と考えました。

ドラマは毎週1回、全12話。高校生の「僕」が大学を舞台に様々な学びの分野を先取り体験し、

成長していく物語です。演じるのは主人公と同年代の男性俳優です。

ロケは本学で行い、台本は本学の事例をベースに広報室で原案を作成しました。

第一話は「想像力を刺激する場所」。主人公の「僕」が古文書の崩し字に悩まされながら歴史の面白さに目覚める姿を描きます。

ドラマに引き続き放送する 30 秒のオリジナル動画は、本学の教員が登場する CM となります。

【概要】

番組名 「向こう側の僕～キャンパスに綴る未来の物語」

内容 ドラマ本編（90 秒）＋CM（30 秒）

放送日時 毎週水曜 22：57～

放送期間 4月8日～6月24日 全12話

放送エリア 近畿2府4県と徳島県の一部

ロケ地 武庫川女子大学中央キャンパス、上甲子園キャンパス、浜甲子園キャンパス ほか

出演者 主人公の僕：岡部息吹さん

岐阜県在住の高校3年生。子役出身で、映像作品としてはデビュー作となります。



【あらすじ】

キャンパスに綴る、”向こう側の僕”の物語。

高校生の「僕」が図書館で手にした一冊の本。ページをめくれば、そこには活気あふれる大学のキャンパスが映し出される。

難しい専門書に没頭する姿、仲間たちと語り合う姿。未来の「僕」は仲間たちと共に課題を乗り越え、新たに学び、そして壁にぶつかってもあきらめずに前に進んでいた。

未来は決まっているのではない。

今の自分が描き、一步を踏み出すことから創られている。

これはキャンパスに綴る”向こう側の僕”を描いた未来の物語であり、”今の僕”が始まる物語

である。

「僕」役の岡部息吹さんのコメント



「映像作品は経験が少なかったなので、この作品の主演に決まり、ドキドキと緊張とやってやろう！という気持ちが重なって、すごい思いのある作品になりました。ロケをした武庫川女子大学のキャンパスは広くて大きくて建物はレンガ調で統一感があり、僕のイメージしている理想の大学生活が感じられました。学問の内容も高度で、学部が13もあって、きっと熱中できることが見つかると思います。

将来は舞台をやったり、演出をしたり、いろんなお芝居のジャンルに挑戦できる役者になりたいです」

この件に関する取材のお申込み、お問い合わせは
武庫川女子大学広報室
Tel 0798-45-3533
メール kohos@mukogawa-u.ac.jp
へお願いします

この案内は西宮市政記者クラブ、兵庫県教育委員会記者クラブの各加盟社にお送りしています。



収録風景